6/29

議事録：篠原健吾

コミュニケーションタイム

発表者：鈴木

＜発表＞

➀目標を立てる

→目標を立てないとただあっという間に時間が過ぎてしまう。

→振り返りをすることで自分に足りないものを見つけられる自分の弱点改善に近づいた。

➁社会人としての人とのかかわり方

→成果発表のメールをはじめとする社会人としてのコミュニケーション

➂様々な考え方

→コミュニケーションタイムや講師の話によって考え方の幅が広がった。

＜感想＞

〇尾辻：わからないことに、「はい」と言わないことは重要。  
　 自分も言ってしまうことがあるので気を付ける。

〇山本：視野が広がったという意見について、いろいろな考え方を吸収してチームに還元していた。

〇井上：「他の人の考えに触れて考え方の幅が広まる」ことは今後働いていくといくらでもある。吸収しながら成長していくのは重要。研修中にそのことに気づいたのはすごい。

〇篠原：最初は受け入れられない考え方もあるかもしれないがその場合はいったん冷静になって考えてみる。その結果受け入れられないならそれで良い。

〇本橋：目標を立てない状態でも、仕事をすることは可能だがやりがいや学習効率を向上させるには必要なことである。  
私自身もその場しのぎで研修に挑んでしまったことが何度かあったため、自身の課題だと思っている。

＜発表＞

発表者：井上

➀プログラミング学習において

・予定を立てる大切さ

→いつまでにどこまでやるかという予定が大切。予定通り達成できなくてもなぜ達成できなかったのか振り返ることができる。

・Try＆Error

→エラーの原因を考え、問題をつぶし続ける。

➁人に伝える難しさ

・口頭

→早口にならないこと、物事を伝える順序を意識

・文面

→誰が読んでも同じイメージをすることができる定量的なドキュメントを意識。

＜感想＞

〇尾辻：予定を立てるだけじゃなく、振り返りまでつなげられることが予定を立てる意味だと感じた。  
人に伝える大切さ。井上さんはコミュニケーションを大切にしてくれていたので最高だった

〇山本：初心者にもわかりやすいようにかみ砕いた説明をしてくれていた。

〇鈴木：名刺管理アプリの時は早口だと感じたが、今は全くそう感じない。

〇篠原：説明をわかりにくいと感じたことはない。個人的に口頭で伝える際に大切なのは事前にある程度言うことを整理しておくことだと感じている。

〇本橋：口頭で自分の伝えたいことを十分に伝える難しさは自分も学んだ。  
自分が思っている以上に逐一報告をするように心掛けたいと思う。

朝ミーティング

・パワポ資料は圧縮してGitHubにpushする。

・提出資料に実装できなかったアイデアを載せる。

・プログラムのインデントやコメントアウトを整理したい。

・発表に関して

→課題の具体例を載せる

→工夫点を機能説明のところと合体させる。

→フロートメニューの色変える。

→5月からの成長ページにプログラミングの要素を追加。

→個人の成長点は別途配布資料にある旨、パワポに明記。

パワポ作成

・課題の書き方

→写真付き

→具体例

・動画取り直そう

・称号の説明追加

・課題点

→上流工程

→ファイル管理

→ドキュメントへの意識

東さん講評

・もっとテンション上げていこう

・カスタマイズ、予定編集消しても良いのでは

・オタクレベルもっと推していく

・課題と展望は７月幾の業務を意識して考える